

世帯と人口

(8月1日現在)  
世帯 47,716  
人口 124,211人  
男 63,303人  
女 60,908人

問 行政経営課  
(☎235・4698=直通)

# 広報えびな

編集・発行 海老名市役所 市長室  
〒243-0492 神奈川県海老名市勝瀬 175 番地の1  
☎046(231)2111(代) ☎046(233)9118  
URL <http://www.city.ebina.kanagawa.jp>

「広報えびな」は、市シルバー人材センターの会員が各家庭へ直接配布しています。お手元に届かない場合はご連絡ください。  
問 同センター (☎292・0303)

# ごみの減量化を進んでいます

## ～燃やせるごみ 8.8% ↓ 減 に成功～



プラスチックの弁当箱、ペットボトルのふたは容器包装プラスチックへ

割りばしは燃やせるごみへ

市では、燃やせるごみの減量化と資源化・リサイクル推進を目的に、昨年10月、ごみと資源の収集体制を変更しました。現在、「紙・布」、「ペットボトル」などの資源物は週1回、燃やせるごみは週2回、また祝日も収集を行っています。



ペットボトルのラベルは容器包装プラスチックへ、容器はペットボトルへ分別

### 燃やせるごみ

### 15%削減を目標

市民のみなさんのご理解とご協力で、昨年10月に実施したごみ収集体制の変更の結果、昨年10月から今年6月までの燃やせるごみの排出量は、前年度(16年10月～17年6月の9カ月合計)と比較すると、約1437ト、約8.8%減少し、収集体制見直しの効果が現れています。

また資源物の回収量は約1301ト、約13.21%増加しました。これは、資源回収日を月2回から毎週に変更し、資源物を出す環境が整ってきたためと考えられます。

市では、燃やせるごみの量を15%削減することを目標としています。この目標に近づけるため、自治会・学校などへの出前講座や、ごみ関連施設の視察など、ごみ問題に関する知識を深めるための活動を行っています。

また、ごみの減量結果報告は、広報などで定期的に掲載していきます。ごみの削減のため、今後とも市民のみなさんのご理解とご協力をお願いします。(15面に関連記事)



▲「手で絞る」ことで水切りネットだけの水切りよりも減量効果がアップします

### 生ごみは水切りを

生ごみは水分を多く含んでいるため、水切りをするだけで10%もの水分を減らすことができます。これにより、年間2250トのごみの減量、1億4000万円のごみ処理費の節約があります。方法は、水切りネットを使って手で絞るだけです。また生ごみは、しっかりと水を切ってから小袋に入れます。生ごみ特有のにおいも出にくくなります。ぜひご協力ください。

問 資源対策課 (☎235・4922)

### 使用済みスプレー缶

### カセットボンベ

### 出し方に注意!



▲噴射口からシューという音がしなくなるまで出し切りましょう

資源物(缶類)として収集したスプレー缶やカセットボンベは、収集・分別作業中、缶の中に残っていた可燃性ガスが引火することがあります。作業中の事故にもつながり大変危険です。スプレー缶などの資



源物は、必ず最後まで使い切ってから缶類(金物類)の収集日に出すよう、ご協力をお願いします。